

令和 5 年 1 月 11 日

令和 5 年度予算（案）の伝達等について

令和 4 年 12 月 27 日に文部科学省から伝達のありました本学の令和 5 年度国立大学法人運営費交付金予定額及び令和 4 年度国立大学法人等施設整備実施計画協議予定事業等について報告します。

国立大学法人運営費交付金等
総額 34 億 3,409 万円 対前年度当初比 2 億 4,181 万円減

文部科学省より伝達のあった本学分の予算（案）に係るポイントは次のとおり。

● 教育研究組織改革分

デジタル・グリーン、地方創生、SDGs 等への貢献を通じた各大学のミッション実現を加速するための組織設置や体制構築といった活動基盤の形成を強力に推進する「教育研究組織改革分」について、国立大学全体に係る新規要求分の経費として 77 億円が計上された。

本学については、新規分として「『地域×データ』実践教育推進室（仮称）」の設置に係る経費が計上された。

新規分 4,950 万円（継続分と合わせると 1 億 3,291 万円）

● 共同利用・共同研究拠点の強化

文部科学大臣が認定する「共同利用・共同研究拠点」及び「国際共同利用・共同研究拠点」における拠点としての基盤的な活動を支援するとして、国立大学全体に係る経費として 47 億円が計上された。

本学については、環境放射能研究所が参画する「放射能環境動態・影響評価ネットワーク共同研究拠点」の基盤的な活動に係る経費が令和 4 年度に引き続き計上された。

1,353 万円

● 成果を中心とする実績状況による配分

教育・研究活動の現場における行動変容や法人全体としての経営改善に向けた努力を促すとともに、国立大学への公費投入・配分の適切さを国民・社会に示すため、教育研究活動の実績、成果等を客観的に評価しその結果に基づき配分を行う「成果を中心とする実績状況による配分」が前年度に引き続き実施された。

国立大学全体の配分対象経費及び配分率は令和 4 年度と同額、同率とし、1,000 億円を対象として、配分率 75%~125%で配分が実施された。

本学については、配分対象基礎額が 3 億 2,766 万円として設定され、相対評価の結果、1,905 万円の減となる次の額が計上された。

3 億 862 万円

- 建物新営設備費
共通講義棟の耐震改修工事に伴う設備費が計上された。 603 万円
- 移転費
共通講義棟の耐震改修工事に伴う移転費が計上された。 315 万円

【令和 4 年度第 2 次補正予算計上事項】

- 国立大学等における教育研究基盤の強化等（国立大学法人設備整備費補助金）
社会変革や地域の課題解決を主導する国立大学等において、グリーン社会の実現、デジタル化、地域の活性化や、防災・減災、国土強靱化を進め、その活動を維持・継続していくために必要な教育研究基盤設備の環境整備等を強力に推進するとして、国立大学全体に係る経費として 158 億円が計上された。
本学については、食農学類「農林生態系における物質循環解析システム」の整備に係る経費が計上された。 1 億 3,230 万円
- 国立大学の設備災害復旧
令和 4 年 3 月 16 日に発生した福島県沖地震により被害を受けた設備の復旧経費が計上された。 6,909 万円

国立大学法人等施設整備実施計画協議予定事業

令和 5 年度当初予算には計上されず、令和 4 年度第 2 次補正予算において次の事業が計上された。

- （金谷川）第 1 体育館改修（単年度）
- （八木田）附属特別支援学校高等部棟改修（単年度）
- （金谷川）ライフライン再生（電気設備）（単年度）

（お問い合わせ先）
財務課予算係 金谷 光泰
電 話：024-548-8014
メー ル：zaimu@adb.fukushima-u.ac.jp